

／みるべえ／

19

地域おこし協力隊



大豆の収穫作業



11月15日（土）岩瀬の畑。秋晴れの空の下。大豆を収穫するため、鎌を持ち、黙々と作業を行うインド人や日本人の方々が約50名。

真剣な面持ちで作業をする大人達。収穫した苗を一生懸命運ぶ子供達。大豆は協力隊の中島拓哉くんが丁寧に育てた「借金なし大豆」。

金融系大手企業のシテイバンクグループの方々に、社会貢献活動として、大豆の収穫作業を行って頂きました。

「自分の祖先は、農家だから！」と言って、嬉しそうに、また、鮮やかに収穫作業を行うインド人の方の笑顔が印象的でした。（大野航輔）

冬は何をしようか……



今年もまた12月を迎えました。

冬の静かな道志の季節です。夏場は川へ行き、畑をやり、あちこちにあそびにも行きました。しかし、冬はそんなことができません。この静かでゆっくりとした時間のなかで何を

するか……。結果として狩猟免許をとって猟をはじめることになりました！ そうはいつても右も左もわからない世界。猟友会のみなさんには

たくさんお世話になっています。先月からいよいよ猟が解禁となりました。最近は猟師見習いという

ことで必死に山を登っています。獣も大事な山の恵み。ありがたいいただきます。（中島拓哉）

野原に住み始めた時から久保と野原の



吊り橋を結ぶ遊歩道は魅力があると感じていました。整備すればもっと良くなるが、一人の力では難しいと思っていました。10月に間伐ボランティア団体「道志・山北の民有林を育む山仕事人の会」が遊歩道周辺の人工林を間伐すると聞き、お願いして参加させて頂きました。

そして11月に開催される婚活イベントにこの吊り橋遊歩道が使われると聞き、間伐の切株でチェーンソーアートを作りました。当日の話題作りになれば嬉しいと思っています。（千々輪岳史）

百姓の会、役場産業



振興課等が企画して道志産いも焼酎の開発をしています。

春のサツマイモの植え付け・秋の収穫作業、焼酎のネーミング会議、ラベルの作成等、協力隊でもお手伝いをさせて頂いています。

いも焼酎の名前は、道志の「志」の文字をあてて「土の心」。完成した時も焼酎は、道の駅で販売されるそうです。今から楽しみです。（香西恵）

D-1グランプリに出店しました！



1月1日・2日に道の駅で行われたD-1グランプリに出店しました！！

「道志村の新名物」を今年も考えて「頼朝伝説・試し切り石コロツケ」を作って販売しました。1日は雨模様でしたが、2日は天気が良くお客様もたくさん来てくれました。

頼朝伝説に興味を持ってくれる人も多くいて、道志の観光名所をモチーフにした商品開発はとても効果があると実感しました。食べて、応援してくださいました。これからも新しい「道志村新名物」を考えて、道志村を村外にアピールしていきたいと思えます。（井口陽介）



試し切り石に見立てた揚げたてコロツケ。青のりと味噌バターをトッピング